

いよいよ今月からスタートする第5次総合計画の“留萌を彩る6つの基本政策”を紹介します

第4回

“暮らしと安全”の政策

るもいの未来図

[第5次留萌市総合計画]



“暮らしと安全”の政策のシンボルである“守”(しろがね色)には、災害や事故、北海道の厳しい自然条件から、基本的な日々の生活を守るという意味を込めています。

全編は、留萌市ホームページで公開しています
<http://www.e-rumoi.jp>

機能的な生活基盤で、安全で清潔な暮らしを守る

この「暮らしと安全」の政策では、積雪寒冷という厳しい自然条件や経済社会生活によって起こるさまざまな災害や事故などから毎日の暮らしを確実に守り、合わせて個々の欲求と地域全体のバランスを図り、安全で安心

な生活の向上を願っています。交通安全や防犯への取り組み、河川やダムを整備、上水道の供給、下水道やし尿、ごみの処理、除排雪については、市民と行政の努力と協力により、快適で安全な生活環境を目指します。

台風や地震、津波、冬期間の大雪や吹雪などの災害から、市民の生命・財産を守るため、町内会などの地域コミュニティを基礎に自主防災の意識を高め、同時に的確な情報を提供する体制の確立を目指します。

税や使用料、手数料などの市民の負担は、まちを支える基本になるものです。こうした負担を、公平公正、あるいはサービを受取る割合に応じて市民が負担することの意味を理解しあい、収納率の向上を目指します。

基本政策の成果を測るための指標と達成目標

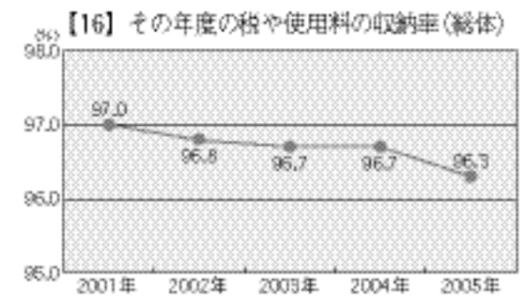
目標値は、基本構想最終年度の2016（H28）年度

指標名	基準値	目標値
【15】市民一人が1日に出すごみの量（g）	632.1	600.0

市役所生活環境課調べ。一般家庭から出される全てのごみ（種別問わず）が対象。基準値は、2005（H17）年の実績値。

指標名	基準値	目標値
【16】その年度の税や住宅使用料、水道料金などの総体の収納率（%）	98.0	98.0

市役所（税務課、建築指導課、水道管理課、下水道課）調べ。その年度の市税、市営住宅使用料、上水道使用料、下水道使用料を対象とした総体の収納割合「収入額÷調定額×100」。基準値は、2005年に策定した財政再建計画の目標値を採用。



指標名	基準値	目標値
【17】普段から災害への備えをしている市民の割合（%）	31.5	60.0

市民満足度アンケート。基準値は、2006（H18）年調査の数値。今後は毎年実施し比較する。



指標名	基準値	目標値
【18】除雪満足度（%）	30.1	60.0

市民満足度アンケート。基準値は、2006（H18）年調査の数値。今後は毎年実施し比較する。

指標名	基準値	目標値
【19】清潔で安心で、暮らしやすいと感じる市民の割合（%）	31.3	60.0

市民満足度アンケート。基準値は、2006（H18）年調査の数値。今後は毎年実施し比較する。